

令和6年2月9日（令和5年(2023年)度第53号）

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局



全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

〒100-8980
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-6503
FAX 03-3581-6509
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp
<http://www.z-hoikushikai.com>

<ニュースの内容>

ホームページで、こども家庭庁による
「こども誰でも通園制度(仮称)」説明会 動画を公開中！

■ 第50回全国保育士研修会を開催しました

■ 第50回全国保育士研修会を開催しました

全国保育士会では、主任保育士・主幹保育教諭等のリーダー的職員の知識・技術を向上させるとともに、子どもの豊かな育ちに向けた自己研鑽の場とすることを目的に、毎年「全国保育士研修会」を実施しています。

今年度は、令和6年1月25日（木）～26日（金）に新横浜プリンスホテルにて「第50回全国保育士研修会」を開催し、291名の参加を得ました。

1日目の全体会では、行政説明「保育をめぐる国の動向と課題」として、こども家庭庁成育局 教育・保育専門官の高辻千恵氏に国の制度動向や課題についてお話いただいたのち、本会の村松幹子会長が「全国保育士研修会の取り組みについて」をテーマに基調報告を行いました。

その後、「子どもの育ちを豊かにする“言葉”」をテーマに、作家の石井光太氏にご登壇いただき、子どもの“言葉”の発達に焦点を当てた講演をしていただきました。また、講演後、石井氏と村松会長による対談を行い、保育現場の視点から意見交換を行い、講義および対談をとおして、参加者一人ひとりが乳幼児期における“言葉”の重要性や、保育現場で求められる“言葉”の発達を大切にしたいかかわり方などについて学びました。



1日目 参加者の様子



対談の様子（写真左から、石井氏、村松会長）

2日目のコース別研修では、「働き続けられる職場づくりー保育の質を高める同僚性へー」「子どもの主体性を尊重した保育実践」「子ども一人一人を尊重する性教育」「連携から接続へ、そして架け橋へー学びの可視化と教育課程の具現化へー」の4コースに分かれて研修を行いました。

講義やグループワークをとおして、自身の園での取り組みについての共有や意見交換などを活発に行い、各地域の参加者と交流を深め、参加者一人ひとりの専門性の向上に資する研修会となりました。



2日目 講義の様子



2日目 グループワークの様子

【プログラム】

1日目 全体会 (1月25日(木))

時間	内容
13:00～	開会
13:15～ 13:45	基調報告「全国保育士会の取り組みについて」 報告者：全国保育士会 会長 村松 幹子
13:45～ 14:45	行政説明「保育をめぐる国の動向と課題」 講師：こども家庭庁 成育局 保育政策課 教育・保育専門官 高辻 千恵 氏
15:00～ 17:30	講演・対談「子どもの育ちを豊かにする“言葉”」 登壇者：石井 光太 氏 (作家) 村松 幹子 (全国保育士会 会長)

2日目 コース別研修 (1月26日(金))

コース	テーマ・講師
A コース	「働き続けられる職場づくりー保育の質を高める同僚性へー」 講師：矢藤 誠慈郎 氏 (和洋女子大学 教授)

<p>B コース</p>	<p>「子どもの主体性を尊重した保育実践」 講 師：久保 健太 氏（大妻女子大学 専任講師）</p>
<p>C コース</p>	<p>「子ども一人一人を尊重する性教育」 講 師：渡邊 安衣子 氏（京都あいこ助産院 院長）</p>
<p>D コース</p>	<p>「連携から接続へ、そして架け橋へ ～学びの可視化と教育課程の具現化～」 講 師：木下 光二 氏（鳴門教育大学 教授）</p>